

鎌ヶ谷市政策評価表

政策の名称	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	政策担当マネージャー	生涯学習部長
重点政策該当有無	○重点政策	マネージャー氏名	山口 清

I 改革・改善内容(=政策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	(1)教育内容の充実については、学習指導要領の改正に合わせ、教育内容の充実のための条件整備を行う。少人数指導教員「きらり先生」、特別支援教育推進指導教員「ほほえみ先生」、外国語教育のためのALT、IT教育などについても継続していくとともに、一層の充実について検討する。 (2)教育環境の整備については、引き続き地域住民の協力を得ながら、学校図書館の充実や、学校施設の環境整備に努める。学校施設の耐震化については、平成25年をもって終了する予定であるが、引き続き学校施設の非構造部材について耐震改修事業を実施していく。 (3)安全安心の確保、青少年の健全育成については、引き続き地域住民の協力のもとに、通学路の整備や登下校時の安全パトロールに努め、一方、非行防止活動の充実を図るとともに、青少年の社会参加・体験活動を継続して行う。	③改革・改善内容	(1)教育内容の充実については、少人数指導教員「きらり先生」や、特別支援教育推進指導教員「ほほえみ先生」、外国語教育のためのALT、IT教育など継続的に実施していくとともに、一層の充実を図る。 (2)教育環境の整備については、学校施設の非構造部材の耐震改修事業を実施するとともに、全小中学校の普通教室、特別教室等に空調設備を設置する。 (3)安全安心の確保、青少年の健全育成については、通学路の整備、登下校時の安全パトロールを継続的に実施、また非行防止活動の充実を図る。
②①に基づく取り組み結果	(1)教育内容の充実については、「ほほえみ先生」を増員しつつ、継続的に実施した。(2)教育環境の整備については義務教育施設の耐震化率100%を平成25年度に完了した。(3)安全安心の確保、青少年の健全育成については、安全パトロール等を継続的に実施した。		

II 政策の目的・概要

①目的	対象	子ども	意図(対象をどうするのか)	子どもが人間性豊かに、かつ、たくましく健全に成長している。
②政策の概要	人間性豊かな子どもの育成環境をつくるため、幼児教育、義務教育の充実、青少年の健全育成、児童生徒の健康と安全の確保する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	全国的な児童生徒に関わる事件事故が多発し、児童生徒の安全確保に対するニーズが高まっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成24～25年度の施策の成果	義務教育施設の耐震化率を計画の前倒しで100%達成した。小中学校全14校に少人数教育指導教員「きらり先生」及び特別支援教育推進指導教員(大規模校には複数配置)「ほほえみ先生」を配置し、少人数指導や個別指導等に成果をあげた。						
②施策成果指標	指標名称	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値(27年度)	
	1 市内幼稚園児・保育所児童数	人	3,469	3,535	3,526	3,450	
	2 少人数指導教員配置数	人	14	14	14	14	
	3 特別支援教育推進指導教員配置数	人	14	14	16	14	
	4 不登校児童生徒出現率	%	0.9	0.7	0.96	0.8	
	5 義務教育施設耐震化率	%	55.0	77.5	100.0	100.0	
	6 学校災害件数の割合	%	7.1	6.7	6.5	5.5	
	7 子ども安全メール登録者数	人	7,353	7,881	5,163	6,200	
	8 学校給食残菜率	%	14.6	13.2	14.2	13.2	
	9 オープンカレッジかまがや参加者数	人	541	523	640	1,000	
	10 地域見守り活動従事者数(延べ)	人	987	1,030	962	1,250	
	11 ジュニアリーダーズクラブ新規加入者数	人	5	5	8	3	
	12						
	13						
14							
③政策の事業費	平成24年度決算	平成25年度決算	市民一人あたり事業費(25年度決算)		平成26年度予算		
事業費(千円)	2,513,097	4,121,087	38		3,741,443		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	子どもの「生きる力」を育てる観点から、学力・体力の向上をはじめとした学校教育等の充実にも努めるとともに、学校施設の整備に努める必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	義務教育施設の耐震化100%達成。引き続き、非構造部材の耐震工事は実施中。その他、各施策は継続的な実施している。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する施策	施策2 生きる力を育てる義務教育の充実		
④上記方向性の説明	児童・生徒の学習環境を整備するため全小中学校の普通教室・特別教室等に空調設備を設置する。		